



2019年3月27日

報道関係各位

株式会社 トモズ
株式会社ロイヤリティ マーケティングPonta提携社とお届け！「Pontaいましる」
2019年3月「花粉症」に関する調査**花粉症の自覚症状がある人のうち、半数以上が病院で診断を受けていない
- 花粉症対策の薬・グッズは、花粉症歴が短いと口コミ、長いと店頭を参考に -**

株式会社 トモズ(本社：東京都文京区、代表取締役社長：徳廣 英之、以下「トモズ」)と、共通ポイントサービス「Ponta (ポインタ)」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」)は、「花粉症」に関する調査結果をご報告いたします。本調査は、あなたの知りたい“いま”をPonta提携社と調べる「Pontaいましる」2019年3月調査として、「Pontaリサーチ」にて実施いたしました。

<花粉症の症状有無>

- ・全体の約半数が花粉症の自覚症状がある(48.6%)
花粉症の自覚症状がある人のうち、病院で診断を受けていない人が半数以上いる

<花粉症歴の長さ>

- ・花粉症の自覚症状がある方の約半数が、花粉症歴「10年以上前から」(48.0%)

<通院の有無>

- ・「市販薬で間に合うため病院には行かない」が1位で、27.9%。花粉症歴ごとでも1位に

<こだわりの薬類・グッズ>

- ・全体の1位「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」(27.1%)
花粉症歴「10年以上前から」では、1位「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」(33.5%)
「直近5年以内」では、1位「マスク」(26.5%)と、花粉症の歴の長さで異なる

<花粉症対策の薬・グッズ購入時、参考にするもの>

- ・全体の1位「テレビ(番組・CM)」で25.2%、2位「店頭、店内の掲示物・POP」で22.0%
- ・「市販薬で間に合うので病院に行かない」派を、花粉症歴ごとにみると、「花粉症歴5年以内」の方は「テレビ(番組・CM)」が1位(30.4%)
「口コミ」関連が、「花粉症歴10年以上」と比較して高い

「花粉症歴10年以上」の方は「店頭、店内の掲示物・POP」が1位(34.0%)

「ドラッグストアの店舗販売員の意見」も「花粉症歴5年以内」と比較して高い

<家の中での花粉症対策>

- ・1位「こまめに手洗い・うがいをする」(39.3%)、
2位「帰宅時に衣類をはたく」(34.5%)、3位「洗濯物は部屋干しをする」(24.9%)
- ・自分が花粉症ではなく、家族に花粉症の人がいる場合、「特にしない」が31.6%

<調査概要>

調査方法：インターネット調査

調査期間：2019年2月15日(金)～2月19日(火)

パネル：「Pontaリサーチ」会員(Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をして頂いている方)

回答者数：3,000人 男性、女性×年代別(20・30・40・50・60代以上)の各10セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。





▶ TOPICS : 花粉症の自覚症状がある人のうち、半数以上が病院で診断を受けていない

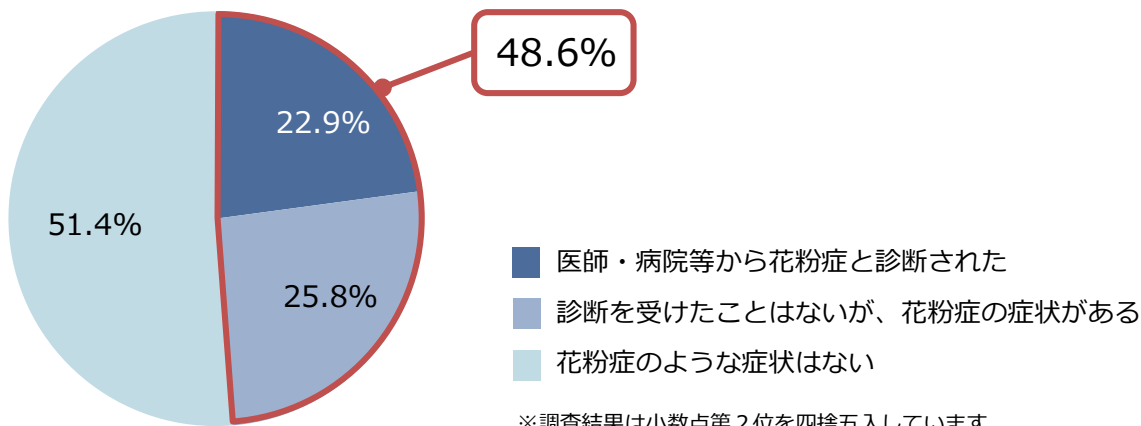
<花粉症の症状有無>

全体の約半数が花粉症の自覚症状がある(48.6%)

…「医師・病院等から花粉症と診断された」(22.9%)、
「診断を受けたことはないが、花粉症の症状がある」(25.8%)

花粉症の自覚症状がある人のうち、病院で診断を受けていない人が半数以上いる

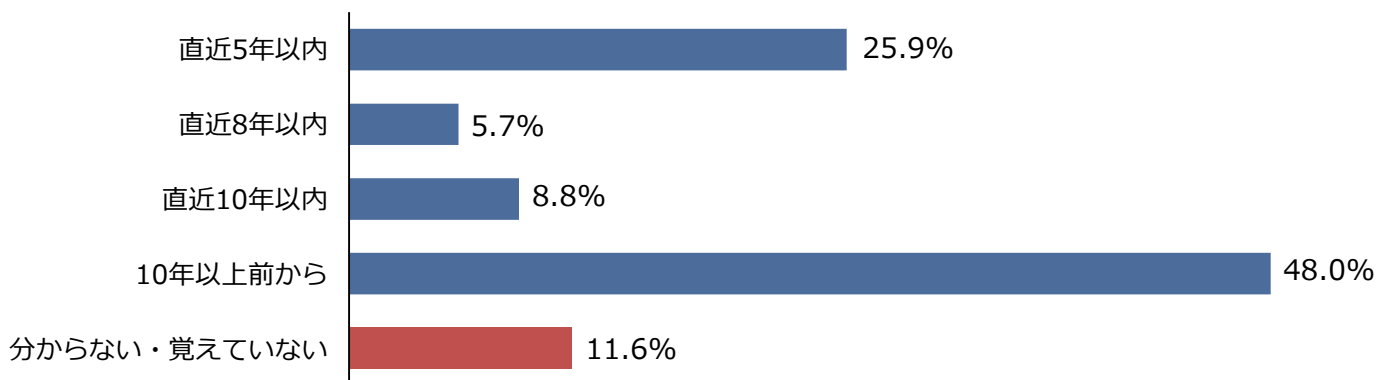
■ あなたは花粉症にかかっていますか。【全体】 n=3000



<花粉症歴の長さ>

花粉症の自覚症状がある方の約半数が、花粉症歴「10年以上前から」(48.0%)

■ あなたは、花粉症の症状が出て何年ですか。【花粉症自覚症状あり】 n=1459





▶ TOPICS: 「市販薬で間に合うため病院には行かない」が1位

<通院の有無>

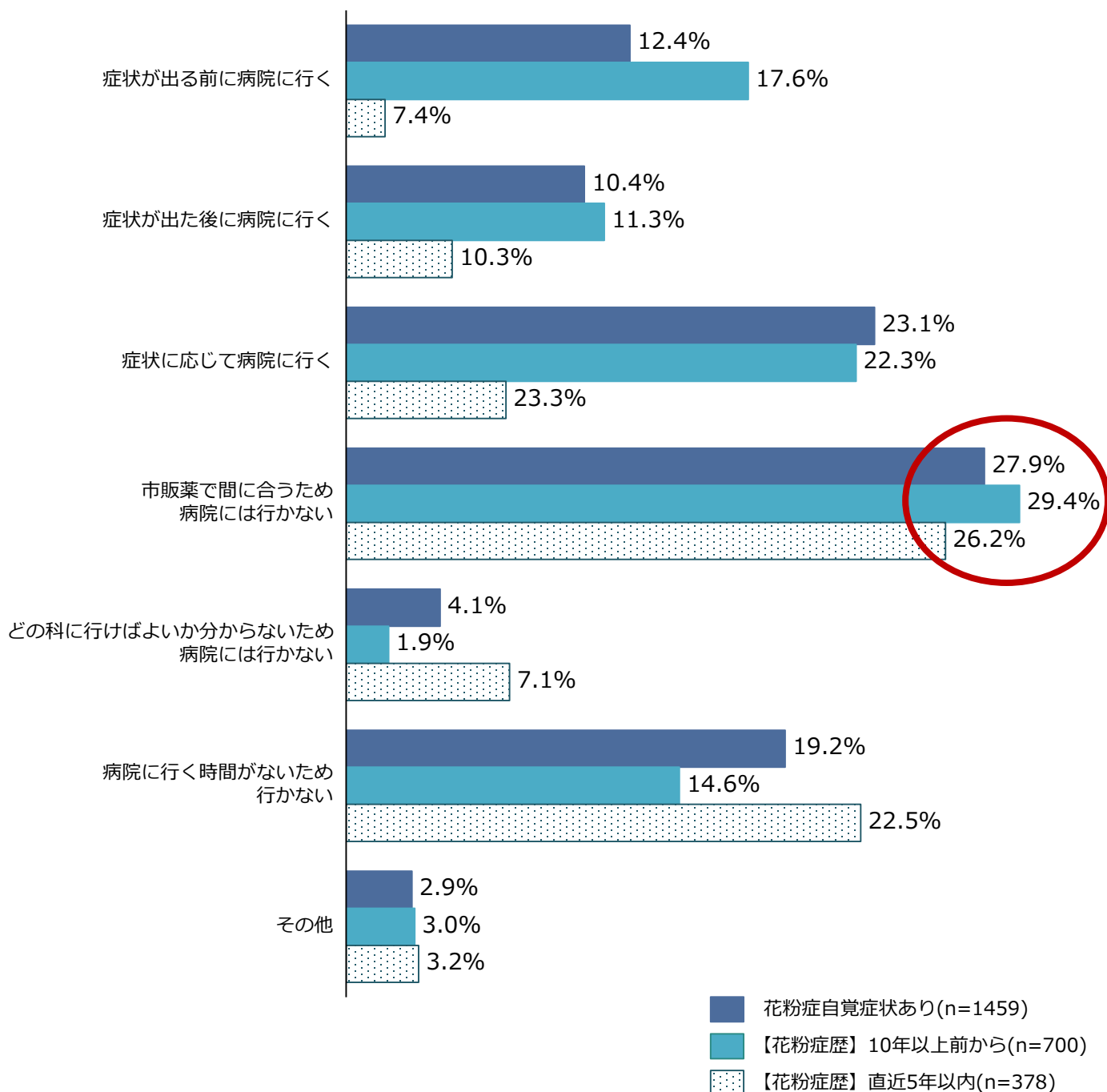
「市販薬で間に合うため病院には行かない」が1位で、27.9%。花粉症歴ごとでも1位に

…「市販薬で間に合うため病院には行かない」が1位（27.9%）となった。

花粉症歴が「10年以上前から」では、「直近5年以内」とくらべ、「病院に行く」が高い。

（「症状が出る前に病院に行く」、「症状が出た後に病院に行く」、「症状に応じて病院に行く」）

■ あなたは花粉症で病院に行きますか。（最も近いものをひとつだけ）





▶ TOPICS : 花粉症歴「10年以上前から」は「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」にこだわり

<こだわりの薬類・グッズ>

全体の1位「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」(27.1%)

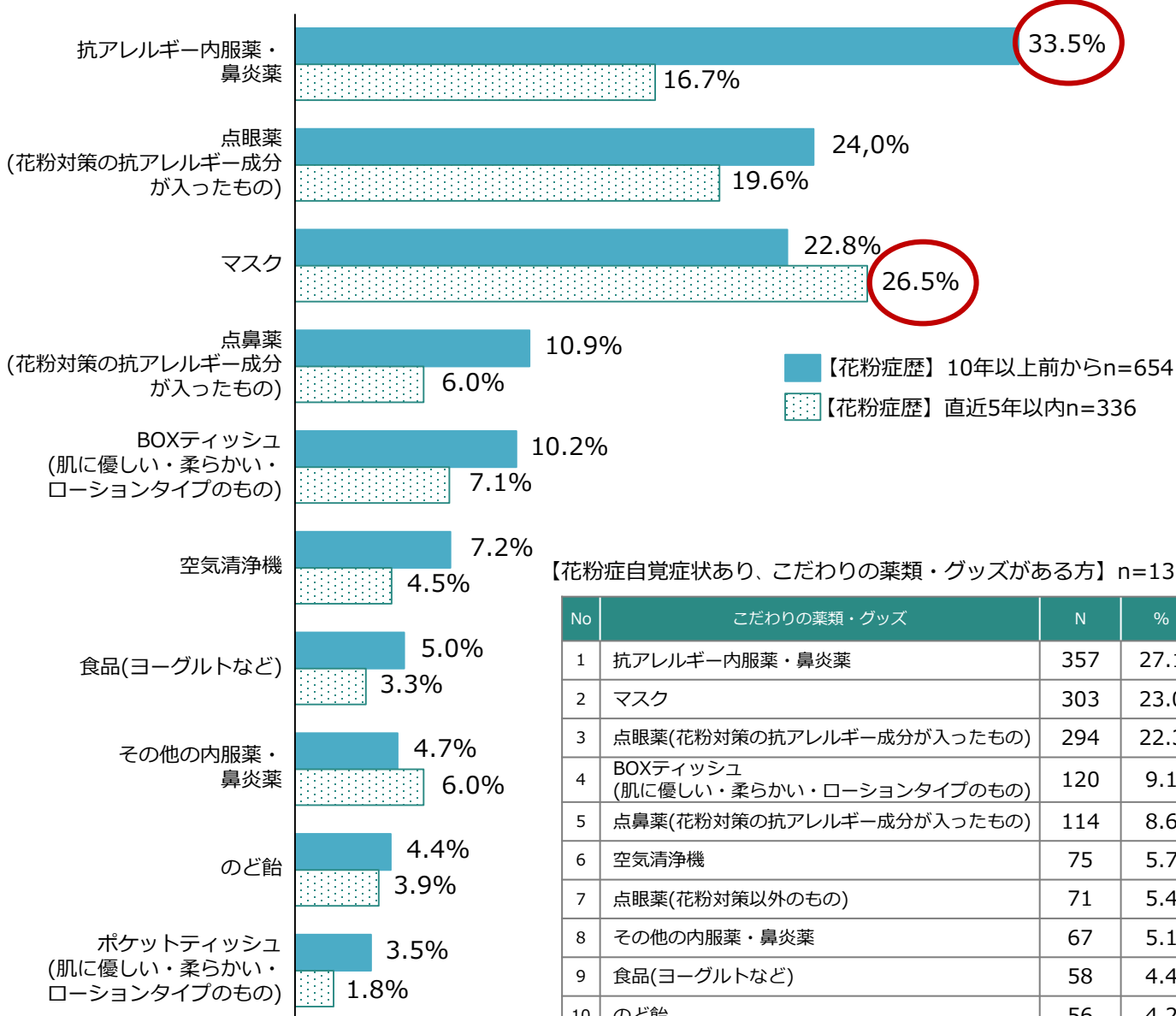
花粉症歴「10年以上前から」では、1位「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」(33.5%)

「直近5年以内」では、1位「マスク」(26.5%)と、花粉症の歴の長さで異なる

■ 市販されている薬類やグッズの中で、あなたが特にこだわっているものは何ですか。(5つまで)

【花粉症自覚症状あり、こだわりの薬類・グッズがある】×【花粉症歴】

※38項目より、【花粉症歴】10年以上前からにおいて、その他を除く上位10項目を抜粋



【花粉症自覚症状あり、こだわりの薬類・グッズがある方】 n=1318

No	こだわりの薬類・グッズ	N	%
1	抗アレルギー内服薬・鼻炎薬	357	27.1
2	マスク	303	23.0
3	点眼薬(花粉対策の抗アレルギー成分が入ったもの)	294	22.3
4	BOXティッシュ (肌に優しい・柔らかい・ローションタイプのもの)	120	9.1
5	点鼻薬(花粉対策の抗アレルギー成分が入ったもの)	114	8.6
6	空気清浄機	75	5.7
7	点眼薬(花粉対策以外のもの)	71	5.4
8	その他の内服薬・鼻炎薬	67	5.1
9	食品(ヨーグルトなど)	58	4.4
10	のど飴	56	4.2
11	ポケットティッシュ (肌に優しい・柔らかい・ローションタイプのもの)	45	3.4
12	花粉ブロッククリーム・スプレー	33	2.5
13	メガネ・サングラス(花粉・防塵タイプ)	31	2.4
14	点鼻薬(花粉対策以外のもの)	27	2.0
	その他	131	9.9

※38項目より、その他を除く上位14項目を抜粋



TOPICS : 花粉症対策の薬・グッズは、花粉症歴が短いと口コミ、長いと店頭を参考に

<花粉症対策の薬・グッズ購入時、参考にするもの>

全体の1位「テレビ(番組・CM)」で25.2%、2位「店頭、店内の掲示物・POP」で22.0%

… 1位「テレビ(番組・CM)」で25.2%、2位「店頭、店内の掲示物・POP」で22.0%となった。

また6位「ドラッグストアの店舗販売員の意見」(11.7%)となり、

WEBサイトのまとめページ(8位)や特集ページ(9位)よりも、参考にしてている傾向が伺える。

「市販薬で間に合うので病院に行かない」派を、花粉症歴ごとにみると、

「花粉症歴5年以内」の方は「テレビ(番組・CM)」が1位(30.4%)

「口コミ」関連が、「花粉症歴10年以上」と比較して高い。

「花粉症歴10年以上」の方は「店頭、店内の掲示物・POP」が1位(34.0%)

「ドラッグストアの店舗販売員の意見」も「花粉症歴5年以内」と比較して高い。

■あなたは花粉症対策の市販薬やグッズを購入する際、何を参考にしていますか。(いくつでも)

※18項目より、特になしを除く上位10項目を抜粋

No	参考にするもの	N	%
1	テレビ(番組・CM)	368	25.2
2	店頭、店内の掲示物・POP	321	22.0
3	知人、家族等からの口コミ	202	13.8
4	これまでの経験から既に購入するものを決めている	199	13.6
5	ネットの口コミ	196	13.4
6	ドラッグストアの店舗販売員の意見	171	11.7
7	新聞・折り込みチラシ	99	6.8
8	ニュースサイト等のまとめページ	54	3.7
9	製薬会社のWEBサイトの特集ページ	42	2.9
10	SNS(Twitter、Facebookなど)	42	2.9
	特になし	464	31.8

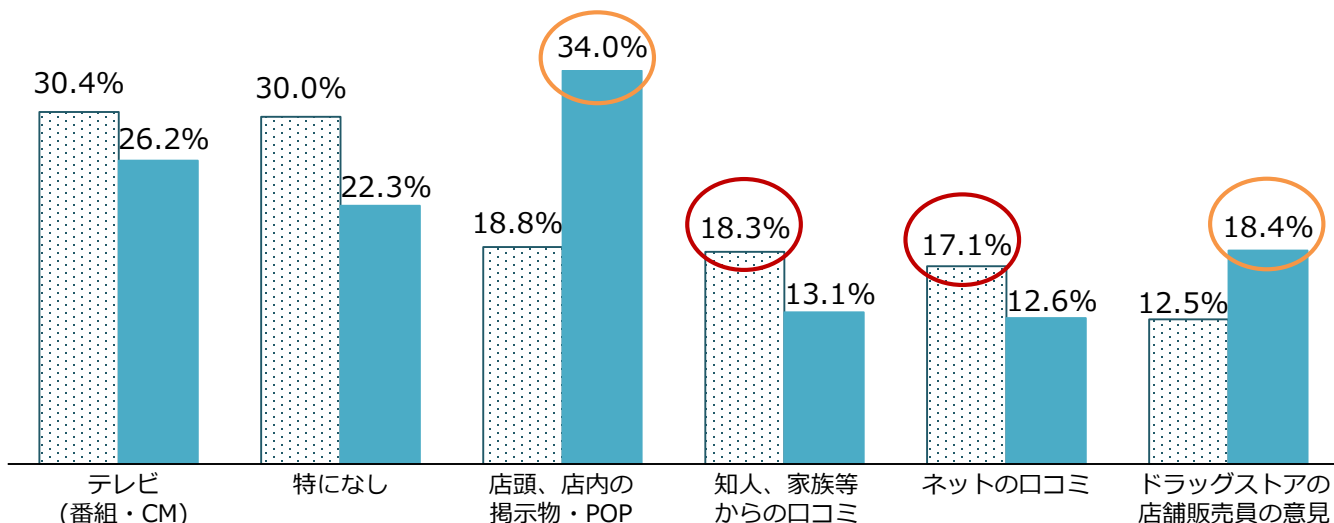
【花粉症自覚症状あり】n=1459

※その他、特になしを含む
18項目より選択

【市販薬で間に合うので病院に行かない】 × 【花粉症歴】

■ 【花粉症歴5年以内】 × 【市販薬で間に合うので病院に行かない】 n=240

■ 【花粉症歴10年以上】 × 【市販薬で間に合うので病院に行かない】 n=206





▶ 参考：自分が花粉症ではないと、家庭内での花粉症対策はあまり意識しない

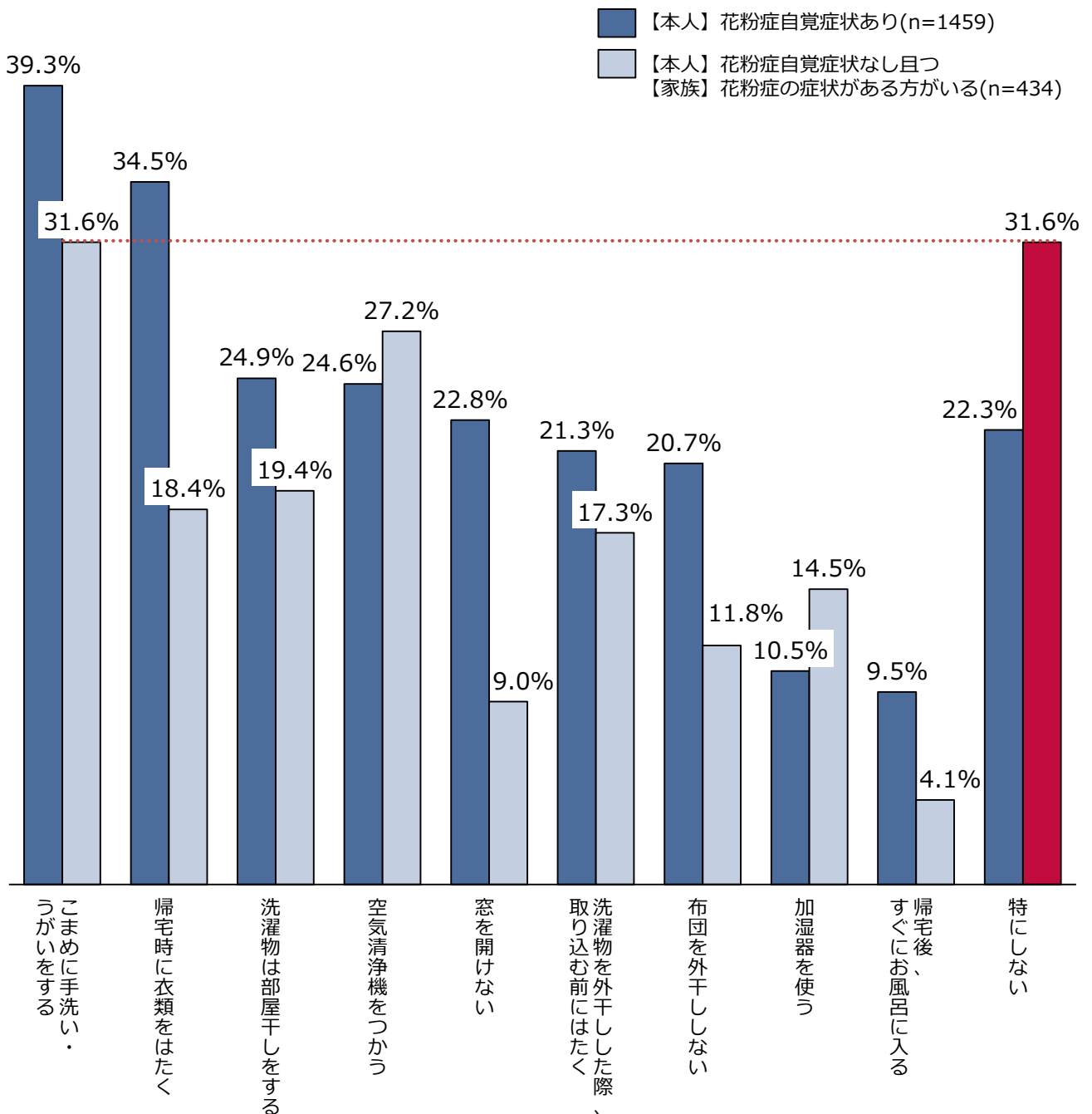
<家の中での花粉症対策>

自分に花粉症の自覚症状がある場合、
 1位「こまめに手洗い・うがいをする」(39.3%)、
 2位「帰宅時に衣類をはたく」(34.5%)、3位「洗濯物は部屋干しをする」(24.9%)

自分が花粉症ではなく、家族に花粉症の人がいる場合、「特にしない」が31.6%
 …「特にしない」が31.6%となり、1位の「こまめに手洗い・うがいをする」31.6%と同率となった。

■自身や同居しているご家族などの花粉症対策のために、家の中で行っていることはありますか。(いくつでも)

※20項目より、【本人】花粉症自覚症状ありの上位10項目を抜粋



※その他、特になしを含む20項目より選択



■花粉症対策はドラッグストアで “セルフメディケーションのススメ” 株式会社 トモズ 商品部 マネージャー 野平直嗣

2017年から、特定の医薬品購入に対する新しい税制「セルフメディケーション税制（医療費控除の特例）」がスタートし、一部の市販薬を購入した際に所得控除を受けられるようになってきました。自分の健康は自分で守る“セルフメディケーションの時代”を迎える中、花粉症対策におけるドラッグストアの役割が高まっています。

花粉症対策を掲げる市販の内服薬は、市場が活性化しており当店でも多くのお客様にお求めいただいています。今回の調査では「花粉症歴 直近5年以内」の方より「花粉症歴 10年以上前から」の方が、「市販薬で間に合うため病院には行かない」の回答が高くなっています。（P.3）また、市販されている薬類やグッズの中で、あなたが特にこだわっているものについて、「抗アレルギー内服薬・鼻炎薬」が、「花粉症歴 直近5年以内」の方（16.7%）より、「花粉症歴 10年以上前から」の方が16.8ポイント高い、33.5%となっています。（P.4）これは、以前は病院で処方される抗アレルギー薬「アレジオン」「アレグラ」といった効き目の良い内服薬が、スイッチOTCとして承認され、病院に行かなくても、ドラッグストアで購入できるようになったことで様々な対策を講じられてきた花粉症歴が長い方が、ご自身の症状に合わせて対策できると感じられているのではないかと推測します。

トモズでは、調剤併設型ドラッグストアとして、処方箋調剤サービスを併設した独自の店づくりにこだわり、薬剤師、登録販売者がお薬の相談対応をさせていただきます。自分の健康は自分で守る“セルフメディケーションの時代”、花粉症にお悩みの方は、ぜひお近くのトモズ店舗でお気軽にご相談ください。

<参考：セルフメディケーション税制>

適切な健康管理の下で医療用医薬品からの代替を進める観点から、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組（※1）を行う個人が、平成29年1月1日から平成33年12月31日までの間に、自己又は自己と生計を一にする配偶者その他の親族に係る一定のスイッチOTC医薬品（※2）の購入の対価を支払った場合において、その年中に支払ったその対価の額の合計額が1万2千円を超えるときは、その超える部分の金額（その金額が8万8千円を超える場合には、8万8千円）について、その年分の総所得金額等から控除する。

（※1）特定健康診査、予防接種、定期健康診断、健康診査、がん検診

（※2）要指導医薬品及び一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品

（類似の医療用医薬品が医療保険給付の対象外のものを除く。）

（厚労省HPより：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124853.html>）

“Pontaいましる”とは？

生活者・社会・企業の“トレンド”、人の“キモチ”を、生活に密着したサービスである“Pontaならではの”視点で調査・発表するリサーチプロジェクトです。Ponta提携社と一緒に、その時期に関心の高まる事柄について、Pontaリサーチ会員へアンケート調査し、発表します。

・「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://research.ponta.jp/top/>

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、“「Pontaリサーチ」調べ”とクレジットを記載していただけますようお願い申し上げます。